

Okanagan Landing Elementary: オカナガンランディング・エレメンタリー

< 公立の小学校内にある BC 州子育て支援プログラム“STRONG START” >

お話：アン先生

資料提供：VIEC ケローナ

レポート：中能孝則

はじめに

オカナガンランディング・エレメンタリースクールはキンダーガーデンから 7 年生まで 340 名が在籍する公立の小学校です。その中に、2~4 歳児（キンダー就学前）とその親を対象として、BC 州の子育て支援プログラム“Strong Start”で、350 ケ所で行われている中かの一つ。BC 州の Ministry of Education（教育省主催）が監督し、財源を提供しています。

そのコンセプトは“遊びから学ぶ楽しみ”を軸とするキンダーガーデン入学までのブリッジプログラムであり、自由参加型で地域の子育て支援も兼ねている。

バーノン市にある 12 校ある小学校の内、4 校で実施してる。実施については校長の判断でできる。

“Strong Start”プログラムのガイドライン

- ① BC 州の早期教育のフレームワークに基づき企画する。
- ② 思考を刺激し、想像力を豊かにするあそびを提供する。
- ③ 読み聞かせ、歌やことばあそびを通じて、ことばの発達を促す。
- ④ 本、アート、手先を使ったあそびから生まれるこどもの発見を大切にする。
- ⑤ 運動や食の健康を体現する。
- ⑥ 親や養育者の参加を奨励する。
- ⑦ 親や養育者と子どもの良好な関係を促進する。
- ⑧ 支援が必要な場合には地域の関係各



所と連携をとったり、紹介をしたりする。

概要（プログラムは室内型とアウトドアスタイルの二つがあり）

A) 今回訪問した室内型

- ① 経費は BC 州から出されていて、親の負担はない。（バーノン市からの補助はない）
- ② 登録数は子ども 170 人で、親も入れると 340 人になる。
- ③ 多いときの利用者は子どもが 40 人で、親も入れると 80 人となり大賑わいである。
- ④ 平均すると 15 人（親も入れて 30 人）である。
- ⑤ 週 5 日運営で、来たいときに来るシステムで、毎日来てもよい。
- ⑥ 資格は、0 歳～5 歳まで見ることができる ECE 資格が必要。
- ⑦ 5 歳～12 歳まで（キンダーガーデンから高校生まで：義務教育）には教師資

格が必要で、自分が希望する年齢のクラスを見ることができる。

開催スケジュール

月曜日	12:30～15:30
火曜日	08:30～11:30
水曜日	08:30～11:30
木曜日	08:30～11:30
金曜日	08:30～11:30

今日の雰囲気

08:30 三々五々集まり自由に遊ぶ
歌を歌う集いもある
10:30 体育室の出かけて自由に遊ぶ
10:45 部屋に戻りおやつタイム
親同士の情報交換の時間にもなっている
その後再び自由に遊ぶ
時間が来たらみんなで片づけて帰る

インタビュー。42歳男性

- ① 20年働いて早期退職して、奥様とも話し合い子育てを楽しむ生き方を選んだ。奥様はしっかり働いている
- ② 将来設計もこの時点で考えてこの方向を選んだ。
- ③ 2歳、7歳、16歳の子どもがいる。子育てにかかわれる喜びを感じている。

※日本人とはは考え方や価値観が違うために、一概には言えないが、42歳でこのような生き方が決められることがうらやましく思えた。

※育児休暇について

夫婦で50週間とれる。最初の15週間は必ず母親がとり、残りの35週間はどちらでも取ることができる。

B集いの広場的なプログラム

(①、②、③はだれでも参加できる)

- ① Cittle Owi Family Circleha は家族同士をつなげるプログラム
- ② 春から秋のネイチャープログラム
- ③ 冬のアートプログラム
- ④ ファミリーバスケットプログラム
(ランチを無料で出す)

*シングルペアレント、祖父母に育てられているファミリー、精神的に問題を抱えているファミリー

*基本的には誰が来てもよい、カナダ人の貧困家庭ファミリーが多い。移民の人もいるが、情報をキャッチできない人がいる。

*偏見などもあり、運営はむづかしい面もあるが、『平等に幸せに暮らす権利を保障する』

- ⑤ ポストプログラム (サンゴのうつをサポートプログラム)

感想

- ① 信頼できる指導者の下でできることであると実感した。アン先生の気配り目配り心配りは、抜群であった。
- ② 子どもも親も安心して参加できる環境であるように感じた。
- ③ 自由遊びの中に自立する準備がされているように感じた。

